

第1号様式(第7条関係)

平成29年4月1日

稲城市議会議長
原島 茂 殿

会派名 起風会
経理責任者 中田 中

稲城市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、別紙のとおり平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

第2号様式(第7条関係)

平成28年度政務活動費収支報告書

会派名 起風会

1 収入
政務活動費 600,000円

2 支出

(単位 円)

科 目	金 額	主たる支出の内訳
研究研修費	155,230円	研修受講料・交通費等
調査費	30,395円	会派視察・宿泊費・交通費
資料作成費	0円	
資料購入費	167,868円	日経en-ka等購読料・書籍等
広報費	137,484円	会派活動報告印刷・折込費用
広聴費	0円	
通信費	60,000円	通信費 2名分
事務費	27,606円	文房具・プリンタインクカートリッジ等
その他の経費	0円	
合計	578,583円	

3 残額 21,417円

職	区	目	領	長	務	所	別	伏	更	際	長	保	長	係
備考														

報告書 報 告 書 終 了 張 出 派 会

出張期日	平成28年5月12日(木)
出張先	2016年度 日本自治創造学会 研究大会 「地方が創る日本の未来」～議会・住民・自治～ 会場：明治大学アカデミーコモン3Fアカデミーホール
研究研修・ 調査課題等	<p>「地方議会人の挑戦 ―議会改革の実績と課題―」 講師：中邨章（日本自治創造学会会長・明大名誉教授）</p> <p>「国民国家の権限と地方分権」 講師：神野直彦（東大名誉教授）</p> <p>「～新たな地方づくり～森・里・川・海と住民・議会・自治体」 講師：中井徳太郎（環境省大臣官房審議官）</p> <p>「～福祉でまちおこしを～国と連携する保育・医療・介護の取組み」 講師：村木厚子（前厚労省事務次官）</p>
	<p>「地方議会人の挑戦 ―議会改革の実績と課題―」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会改革は拡大しているにも関わらず議会イメージは低下 ・ 議会基本条例は市区の53.1%（432自治体）が制定済み ・ 議会報告会、議員間討議、反問権等の改革には多くの議会を実施 →しかし住民はその努力を評価せず、関心は低いまま ・ 住民が議会の動きに無関心な理由 <ol style="list-style-type: none"> ①二元代表制の建前と本音 首長が圧倒的に強い権限を持つ（予算編成権、人事権、住民に露出する機会など） →議会事務局人事権と議会予算は議会が主導権を持つべき 今後は議会権限を高め、首長とやり合える力をつけるべき 議会は実は強い権限を持っているのに活かさきれてない 議員は首長と予算・議案に関する事前調整を行っているはず →今後はウラで行っている調整を表に出す改革が必要 ②代議制の矛盾 （古典的考え）市全体の奉仕者⇔支持者の利益代表者 →市議選は大選挙区制（同党派でも選挙では敵） 支援者利益代弁の政治でないと選挙に勝てない →（支持者以外の）一般住民の関心は薄くなる ③低すぎる報酬 平均58.9歳で平均年収500万（公務員は平均43歳で460万） しかし一般市民の評価は「議員はおいしい仕事」 →若い議員の成りてがいない。兼職緩和、所得保障等必要 ④参加アクセスの不足 現行の3制度（選挙、直接請求、陳情・請願）がどれも不十分 選挙：4年に1度しかない 直接請求：苦勞して成立してもその先に議会審議 陳情・請願：使うのに勇気がいる古い制度 <p>・ 住民の関心を高める政策検討が必要 陳情・請願から脱却→例えば住民投票 住民目線の議会審議→議題配布、議事の解説、託児所設置など</p> <p>「国民国家の権限と地方分権」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在は世界史の大きな変わり目である IS・シリアによる数十万の難民 ヨーロッパ的社会保障・財政調整制度の崩壊→ネオナチの台頭

收受
稲城市議会
28.5.26
第 号

- ・EU-加盟国の関係は、日本-地方自治体の関係と同じ
EU加盟国は通貨発行権が無く、課税権しかない
→為替変動によるリバランスができない
→富める者（東京）は更に富み、貧しい者は更に貧しくなる
- ・グローバル化・ボーダレス化により人と金は自由に国境を超える
→中央集権的な福祉（現金給付）が機能不全に陥る
→現物給付による生活保障補強の動き→地方自治体の役割拡大
- ・地方財政の機能は、①地方公共財の供給（資源配分）、②準私的財（教育・医療・福祉など）の供給、③所得再分配機能の分担責任
- ・基礎自治体再編の二つの道
合併拒否・地域連合型のフランス
→きめ細かいサービスができるがスケールメリットが出ない
強制合併・地域内自治組織のスウェーデン
→スケールメリットは出るが遠い政府になる
- ・社会保障制度は利己主義に立つと説明できない、維持できない
→格差や貧困には、共同体意識の醸成が必要
コミュニティ力、家族力の強化
例) スウェーデン家族リハビリセンター

「～新たな地方づくり～森・里・川・海と住民・議会・自治体」

- ・環境・経済・社会が複雑に絡み合っている 例) 化石燃料の輸入
→環境政策は、地域経済が回り、社会が活性化することと並行して取組む
- ・環境は限りあるもの「ストック」として捉え、そこから持続的な「フロー」を自然の恵みとして受け取れる仕組みづくり
- ・2050年に温室効果ガス80%減の姿
エネルギー消費量を現在の4割減+発電量の9割を低炭素電源で実現できる
→技術、ライフスタイル、経済・社会のイノベーションが必要
- ・再生可能エネルギーのポテンシャル
9割の自治体のエネルギー収支が赤字
全国で約27兆円の化石燃料が輸入され、国富が海外に流出
- ・地域経済循環分析（H27環境白書）
「生産」「分配」「支出」の資金の流れを循環構造に沿って分析する手法が注目されている
→昨年12月に創生本部に提供、要望あれば自治体にも提供
地域資源（ストック）の充実と再生可能エネルギー活用により地域外への流出を防ぐことで、健全なフロー経済が成立する
- ・森里川海プロジェクトは、自然の恵みを引き出す仕組み構築やライフスタイル転換を推奨するもの
→昨年から全国リレーフォーラム実施中

「～福祉でまちおこしを～国と連携する保育・医療・介護の取組み」

- ・ベビーブーマー世代の3番目の山が無い
→親適齢期（団塊Jrの子供世代）の人口減→急速な少子高齢化
- ・2030年の若者世代は既に生まれているので変えられないが、それ以降の世代はまだ生まれていないので変えられる余地あり
- ・生産年齢人口減時代のポイントは
①人口の半分を占める女性の活用 ②65歳以上の高齢者の活用
- ・女性活躍+少子化対策には、結婚・出産へのハードルを下げる
結婚-経済的安定がカギ、食べていける雇用を確保する
出産-何人目かで条件が異なる
第1子-子育てしながら働き続けられる環境がカギ
第2子-夫の育児参加が多いと出産を決める人が増える
第3子-家庭の経済力がカギ
- ・雇用政策研究会報告書
→1億総活躍の2年前に、雇用政策の2つの軸を示した

	<p>①危機意識をもって「全員参加社会」を実現する ②社会全体で人材の最適配置・最大活躍を実現する</p> <p>社会保障・税一体改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の充実が本当に必要なのか見直す時期がきている →国民と政治家で議論して決めればよいが、最悪の組合せは「払いたくないがもらいたい国民」と「増税したくないがたくさん配りたい政治家」 ・子ども子育て関連3法のポイント <ul style="list-style-type: none"> ①縦割り行政の解消、③自治体にニーズ調査を求める ③提供方法はいろいろ使ってよい（小規模、保育ママ等） ・地域包括ケアシステムの構築 →地域全体連携という方向に変わってきた 価格設定の自由化が進んだ（担い手の多様化） ・生活困窮者支援←まだ市町村まで降りてない ・福祉に必要な考え方を整理した宮本太郎氏のレポートがよい →4つの基本的視点？3つの支援でよくまとまっている ・社会福祉法改正で、社会福祉法人活用の好機 →透明性が高まり、目的が明確になった <hr/> <p>元気が出る事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困窮者支援—釧路市：福祉事務所の仕事紹介—少しでも稼いでもらう ・障害者雇用—沖縄県：NPSキングコング—障害者はムードメーカー 北海道芽室町：九神ファームプロジェクトめむろ 福祉楽団—千葉県：恋する豚研究所 吉川市：在宅介護サービス 最近では林業も始めた ・北海道当別町—地域福祉ターミナル（ワンストップ窓口） パーソナルアシスタンス、障がい者雇用のカフェ併設 ・東京都北区霧が丘団地—介護施設
<p>参加者 氏名</p>	<p>中田 中</p>

稲城市議会議長

原島 茂 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成28年 5月 25日

会 派 名 起 風 会

代表者氏名 中田 中

起風会 会派出張会計報告

視察先 東京都千代田区 5/12 ~ /

1. 運賃 (航空賃)				
稻城駅	⇒ 御茶ノ水駅	円 ×	1人 =	453 円 /
御茶ノ水駅	⇒ 若葉台駅	円 ×	1人 =	494 円 /
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
2. タクシー (レンタカー)				
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
3. 宿泊料				
		円 ×	人 =	円
4. 土産代				
				円
5. 写真代				
				円
6. その他 (振込手数料等)				
	参加費 (5月13日の受講料も含む)			15,000 円 /
	合 計			15,947 円 /

以上のとおり報告します

平成 28年 5月 25日 /

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-2

使途項目研究研修費

(領収書等貼付面)

ICカード残額ご利用明細
 カード番号: ~~XXXXXXXXXXXX~~
 残額履歴 (最新 20件)

月日	種別	利用駅	種別	利用駅	残額
04	入	若葉台	出	稲城	*2078
04	入	稲城	出	京王新宿	*1790
04	入	新宿	出	御茶ノ水	*1625
04	入	御茶ノ水	出	新宿	*1460
04	物販				*1330
04	入	京王新宿	出	若葉台	*1001

16.05.12 18:57 若葉台駅 401 発行
 ・毎度ありがとうございます
 1) 京王電鉄株式会社

208
165
165
229

(事業名、使途及び内容等)

5/12 2016年度日本自治創造学会研究大会 交通費
 行き: 稲城駅 → 京王新宿駅・新宿駅 → 御茶ノ水駅
 帰り: 御茶ノ水駅 → 新宿駅 京王新宿駅 → 若葉台駅

(備考)






政務活動費領収書等添付用紙

使途項目研究研修費

整理番号
A-1

領 収 書		No. 141
稲城市議会 起回会 殿		平成28年 5月 12日
¥ 15,000 /		
但し 日本自治創造学会研究大会 参加費(資料代含む) (28.5.12~.5.13) 上記の金額を領収いたしました		
財団法人 日本自治創造学会 理事長 穂坂邦夫 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町112-2 タック馬喰町 707号 TEL 03(5623)0472・FAX 03(5623)0473		

(事業名、使途及び内容等)
(備考)

議長	副議長	事務局長	次長	係長	係長	係長
						
備考 会 派 出 張 終 了 報 告 書						

出張期日	平成28年5月13日(金)
出張先	第17期 自治政策講座in東京 「これからの自治体・議会の責務Ⅱ」 会場：市ヶ谷自動車会館 大会議室
研究研修・ 調査課題等	「地方自治の課題と再生」 講師：藻谷浩介(日本総研主席研究員)
	「地方財政の現状と将来」 講師：小西砂千夫(関西学院大大学院教授)
	「～地方創生を考える～地方創生のあり方」 講師：金井利之(東大大学院教授)
	「～地方創生を考える～地方創生のとらえ方とその成果」 講師：木村俊昭(東京農大教授)
	<p>「地方自治の課題と再生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で最近(2010.1→2015.1)起きていること 総人口：△89万←ついに日本人も減少 0-14歳：△74万、15-64歳：△402万、65歳-：386万 →お金のかかる高齢者が年3%増える中、稼ぐ世代が年1%の割合で減っているのが現状 ・東京23区で最近(2010.1→2015.1)起きていること 総人口：+23.3万 0-14歳：+4.2万、15-64歳：△1.6万、65歳-：+20.7万 →23区は子どもが非常に少ないコミュニティ 団塊世代も少ないので高齢者の増え方も緩やか(その頃は都心に家が買えなかったから) →多摩を入れるともっと悪い。東京一極集中の時代はとっくに終わっている ・高齢者は75歳以上で考えるべき ・人口動態としての高齢化は40年後まで変わらない ・団塊世代の25%は都会暮らし、段階Jrは60%が都会暮らし →今後の高齢化は田舎だけの話ではない ・周防大島→人口構成は25年後の日本 年寄り多いが元気、若い世代は横ばい→うまくいってる ・愛知県豊田市→企業城下町は団塊リタイアで一気に高齢化 →トヨタは高齢者がリタイアしても若手を雇用していないので現役世代も子どもも激減 ・群馬県上野村、海士町 →団塊世代が少ないので高齢者になる人も少ない、しかも移住者が少しづつ増えているので子ども数も増 ・日本全体では過去のついで、高齢者が増えて子供が減っている。高齢者は死なないので減らせない →子供を増やすor減らさない努力が必要 <p>現代はお金がないと出産・育児ができない時代 →子育てを社会で支える仕組みが実現できれば、十分有効な少子化対策となる →この課題は、自治体全体ではなく数千人単位の自治会レベルで取り組むべきものである</p>


 28.5.26
 盛 豆

「地方財政の現状と将来」

- ・地方交付税とは
 - 都会と農村の不公平解消を目的としているもの
 - 例) 採算合わず杉林を放置する自治体→補助金で伐採
 - フェアトレードも同じような考え方
- ・都会と農村の格差を交付税だけで埋めることはできないが
地方自治体の運営に不可欠で無くすこともできない
→交付税は「経済学」ではなく「統治論」である
- ・現役減少=税収減とは言い切れない
→高齢者や無人工場でも税金の取りようはある
- ・地方財政制度の成り立ちとその展開
昭和41年に原型が整い、その後バブル前まで機能していた
小泉時代に諸々の改革実施→痛みの伴う改革路線
現在は改革時代は終わり、次の段階に来ている
(地方財政に対する改革自体はだいたいやり終えている)
- ・これからはフェアトレードのような経済政策に関心が移って
いくのではないかな?
- ・臨時財政対策債を上限いっぱい借りていて大丈夫なのか
→他の地方債より臨財債が一番マシであるので他の地方債
の心配をした方がよい

「～地方創生を考える～地方創生のあり方」

- ・地方創生における「希望出生率」の落とし穴に注意
→理想値と現実的な目標値の間をとったようにして決めた
目標値に理屈を後付けしたようなものが多い
- ・現在はKPIや数値目標を重視する傾向があるが、達成でき
そうになるや、いつの間にか数字を出さなくしたり、
数値目標の上書き(下方修正)をしがちなので注意
- ・都合のいいときだけ”希望”という語を使っていないか
→希望年収(いくらもらいたいか)は目標でないのに
希望出生率(何人生みたいか)は目標としている
→子供の数について、国に強制されたい人などいない
- ・目標は人口置換水準の2.08以上にすべきなのに「希望」を
目標とするのは、国民への責任転嫁である
- ・希望と現実には常にギャップがあることを無視している
→希望年収+希望の結婚相手が実現したとしても、実際に
子供3人作るとは限らない
→国の方針・考え方は鵜呑みにしてはならない

「～地方創生を考える～地方創生のとらえ方とその成果」

- ・奈良県吉野町(人口2万→7800に減少)を昨年4月から支援
- ・大学でまちづくりの2か条を実践
 - ①産業・歴史・文化を徹底的に掘り起こし磨きをかけること
 - ②子供が地域に愛着心を持てるよう人づくりに取り組むこと
 更に以下の点も重視
 - 「部分個別最適化から全体最適へ」
 - 「人財育成が重要」→現場で実践
 - 「広聴・傾聴・対話が大事」→行政は住民目線が大事
- ・「うちの市はどこから始めたらいいの？」と質問される
 - ①キーパーソンネットワーク図
議員もキーパーソンである
 - ②産業連関図を作る
- ・行政のところに呼ぶのではなく、行政が市民の基に出向く
- ・現状把握3か月→構想3か月→傾聴&実践6か月→検証&実践6か月
の1年6か月サイクルを2回回し、3年で結果を出す
- ・①主産業は何か→②起業支援→③企業誘致の順番で
最初に③市外を頼るのはダメ。主産業に手をかけないと
街のキーパーソンのモチベーションが低下し逆効果
- ・五感・六育モデルの推進
五感(見る・聞く・嗅ぐ・触る・味わう)に訴える地域の魅力は?
六育(食育・遊育・知育・木育・健育・職育)

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化のフレームワーク 認め合う仕組みづくり ①情報共有 ②役割分担（出番創出）③事業構想 ビジョン ①産業・歴史・文化の掘り起こし 主産業の強化→起業支援→企業誘致 ②未来を担う子供たちが愛郷心を持てるように育む アプローチ ①できる化、②見える化、③しくみ化 ←数値化 +五感六育の推進、広聴・傾聴・対話→全体最適
参加者	中田 中
氏名	

稲城市議会議長

原島 茂 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成28年 5月 25日

会 派 名 起 風 会

代表者氏名 中田 中

起風会

会派出張会計報告

視察先

東京都千代田区

5/13 ~ /

1. 運賃 (航空賃)

往復)若葉台駅⇄ 御茶ノ水駅	円 ×	1人 =	988 円
⇒	円 ×	人 =	円
⇒	円 ×	人 =	円
⇒	円 ×	人 =	円
⇒	円 ×	人 =	円
⇒	円 ×	人 =	円
⇒	円 ×	人 =	円
⇒	円 ×	人 =	円

2. タクシー (レンタカー)

⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円

3. 宿泊料 円 × 人 = 円

4. 土産代 円

5. 写真代 円

6. その他 (振込手数料等)

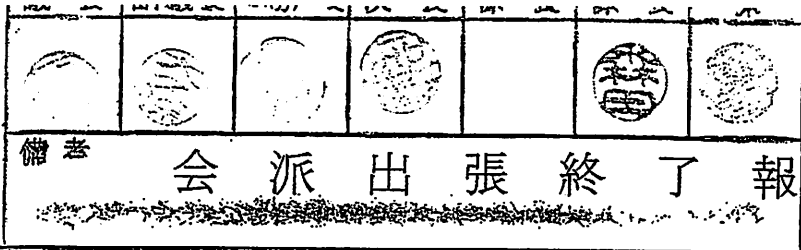
参加費は5月12日分で報告済み 0 円

合計 988 円

以上のおり報告します

平成 28年 5月 25日

会計責任者 中田 中



備考

報 告 書
 了 終 張 出 派 会

告 書

出張期日	平成28年8月1日(月)
出張先	議員・職員のための質問力レベルアップ講座in東京 (会場:アットビジネスセンター池袋別館804号室)
研究研修・ 調査課題等	「自治機構としての自治体議会」 講師:土山希美枝(龍谷大教授) <hr/> 「質問力を高め、議会力に活かす」 講師:土山希美枝(龍谷大教授)
	「自治機構としての自治体議会」 1. 自治基本条例と議会基本条例 ・自治基本条例とは 2000年ニセコ町から、現在300超の自治体が制定 “まちの憲法”と言われる、自治体運営の基本方針と仕組みを定める 近年は市民自治にも言及する条例が増える →これは憲法違反では?行政からの強制はできないはず ・議会基本条例とは 2006年栗山町から、2015.6現在724自治体が制定 2013年158自治体制定がピーク→既にブームは過ぎた 制定数が自治基本条例より2倍近く多い →議会の役割について改めて文章で明確に示すことが求められる時代 2. 社会構造から自治体をとらえる ・自治体の機能の変遷 「自治体」は本来「地方公共団体」、主体性は求められていなかった 高度成長期の革新自治体の出現で、地方自治の主体としての期待 地方分権改革後、自治体が政府としての役割を果たすようになった ・現代の自治体に求められる役割 市民から預かった有限資産を使い、市民が求める優先課題に対応する 政策には正解が無く、必ず複数の選択肢がある(政策=目的+手段) →これまでの行政は「間違わないこと(絶対無謬性)」が求められた が、現在は成功モデルの無い混沌の時代 →議論により自分たちの納得のいく結論を出すことが求められている 「決断」という契機と「納得」 →正解無くとも首長or議会は決断が必要 →不利な結果も受入れることができるのは「決断に至る手続き・議論」への「納得感」があればこそ <hr/> 3. 自治機構としての自治体議会 ・社会にある多様な意見を公開のヒロバで議論し集約→決定する ・議会改革の本筋=議論×(参加+情報公開) 今までウラでやってきたことをどれだけオモテに公開していくことができるか 私はこう思うではなく、議会はこう思うをどう可視化できるか ・議会力=(議員力の総和)×チーム力 議会がチームになれるかどうか最大の課題 →AKBのような多人数アイドルグループ型のマネジメントができるようになる よい (ピンではライバル関係だが、チームでも活動できるような) 議会基本条例制定の際の議員間ワークショップでは会派の区別なく 活発な意見交換が行われ、議会としての一体感が醸成された

収受
 稻城市議会
 28.8.10
 第 号

→議員同士で意見交換するなどしてチーム作りを意識的に行うべきである

4. 市民参加のための「対話」のしつらえ

- ・(議員の)心が折れない議会報告会にすべき
議会報告会は名前が悪い。報告の場にするから特定市民のクレーム対応の場となる
→市民との対話の場として活用すべき
終わったのことの報告は短時間でよい、多くの時間を対話に割く
→多くの人が意見を言える場にすれば、特定クレーマーの独壇場ではなくなる
多くの自由意見をそのまま持ち帰れるのは(行政報告にはない)議会報告会の強み
→市民の意見を受け止め、これからの議論に反映させる
- ・対話の前提としつらえ
「話し合い」のキモは、争点(ネタ)と機会(場)のデザインである
議会側の「聴く力」を高める
「発話」を尊重し、ハードルを下げる雰囲気作り→グラウンドルールの提示
議論の内容を「可視化」するツールの活用する(付せん、ホワイトボード)
→参加者に「そこにいる意味」を与える

5. 質疑応答

- ・議会報告会はどう呼ぶべき?
→意見交換会、議員と対話する会、等
- ・陳情会にならないためには?
→行政に伝えるルートを示した上で、その場は聞き置いて持ち帰る
- ・心が折れない議会報告会にするには?
→会の目的を明確にし、参加人数を評価基準にせず、実のある議論かどうかを評価する
- ・議会報告会の意義は?
→議員は聞かなくて済むほど市民の声を聞いていない。市民の声を受け止めるのに必要である
→市民はまちの課題でしかつながることはできない。まちの課題について話し合う場として必要である
→もっと議会の方から市民向けに営業をすべきである
- ・改選時に議会への考え方が継承されない事への対応は?
→ファシリテータを入れたディスカッションor先輩議員に思いを語ってもらう。継承の方法は「仕組み化」できるとよい

「質問力を高め、議会力に活かす」

1. 一般質問の特性と機能

- ・議員には「政治家としての顔」と「議会人としての顔」があるが一致しないことが多い
→議員には政策実現の権限が無く、議会の一員として振舞うことが求められるため
- ・一般質問は全ての議員が市政に関わる全てのことに質問できる機会
→「議員一人でもできる市政改革」になり得る
 - ①監査質問：自治体運営や事業執行をチェックする機能
 - ②政策提案質問：政策(と具体的な施策・事業)を提起する機能
- ・一般質問に対する議会改革の取り組みは、一問一答形式、反問権などがある
→質問の形式よりも質問時間、再質問回数、答弁調整が大事

2. 一般質問は機能しているか

- ・龍谷大「質問力研修」
うまくいかなかった質問を持ち寄り、議員+アドバイザーのグループで、うまくいかなかった理由や改善点を分析・考察する
- ・議員が市政の問題点を論じたり、提案したりする機会なのに十分活用されていない
 - 残念orもったいない質問
公表数字を確認するだけ/論点を入れすぎでぼけてしまった
/一般質問としては個別的すぎる/合理的な根拠や論拠の無い批判
/国や都の政策など自治体が関知できない事柄/自身の政治信条の演説に終始/一問一答やってるうちにぐだぐだの内容になった
- ・「行政の無謬性」幻想に陥る議員と行政
 - 行政のメンツを意識しすぎ
「八百長と学芸会」「マッチポンプ質問」
- ・議会内外の製作スタッフの不足、よい一般質問像や訓練の不足などの課題

3. 機能する一般質問のために

- (1) 論点を絞り、具体化する
 - ・まちをよくするための質問になっているか
 - 支援者個人の問題ではなく、市政の課題に翻訳する
 - 通告書作成前に論点を絞り込む。論点は事実+意見(分析or主張)で構成される
 - どの事業が問題なのか具体的に問う
 - ・監査質問か、政策提案質問かを意識して必要な下調べをする
- (2) 情報を収集する
 - ・現場の声を聞く(まず聞くことが何よりも大事)
 - ①困っている市民の現場、②それに対応する行政の現場
 - ・政策情報の類型とリソース
 - ①争点情報: 市政への問題意識、他市事例など
 - D-File、図書館レファレンス共同DB、国立図書館issue brief
 - ②基礎情報: 自治体・国・公共機関等の統計情報・調査情報など
 - e-Stat(政府統計ポータル)、RESUS(地方創生)
eLen(条例検索)
 - ③専門情報: 技術情報や学術論文など
 - Cinii(サイニー、雑誌・論文情報)
 - (3) 質問作成、質問、その後のフォロー
 - ・論点を絞り、目標を明確にする
 - ひとりワークショップのススメ、質問の戦略と60%ラインの設定
 - ・かみ合わない答弁を避けるため、最低限の答弁調整は行う
 - ・政策提案質問の流れ
 - ①課題を共有する、②問題意識(文脈)に共感、③納得の獲得
 - 行政をいかに土俵に乗せるかが大事
 - ・質問後のフォローアップも必ず行う(議場では終わらない)

4. 「いい一般質問」とは

- ・監査機能、政策提案機能を果たしていること
 - ①何が問題なのか明確で、納得感がある
 - ②なぜ問題なのかを示す情報が入っている
 - ③聞いて分かりやすい(伝わりやすい)
 - ④政策提案が具体的である
 - ⑤わが街の状況を反映している
- ・最後はお礼ではなく、論点メモを読み上げ再確認で締める
 - 仮にぐたぐだになってしまっても、最低限取り繕うことができる

5. 質問力から議会力へ（個人プレーからチーム力へ）
- ・一人でやる一般質問の限界
 - 質問力
 - =①情報収集×②問題意識×③整理分析力×④説明力×⑤議論力
 - ①～⑤の総合力で決まるので、どれか一つでも劣っているといい質問にならない
 - ・一般質問を「議場ひとりぼっち」のものにしない運用
 - いい質問への拍手くらいはいいのでは？
 - 複数議員が同じテーマで異なる視点で質問する
 - 関連質問として他の議員が追加質問することを認める
 - 以前の質問内容を事前通告なしにその後の経緯などを質問することを認める
 - 一般質問の内容を所管事務調査に取上げ、委員会からの提言とする
 - 議会だよりに「ベスト一般質問賞」を設ける
6. 質疑応答
- ・行政との調整は実を取るにはある程度は必要では？
 - 実とは何かよく考えた方がよい。こちらの主義主張を抑えて、行政のメンツや言い分を認めるのでは一般質問の意味が無い。その考え方を改めるべき
 - ・「検討します」への対応は？
 - いつまでに、どう対応する、を必ずトラッキングする。「研究」も同様。お役所答弁で引き下がらない
 - ・一般質問のよいアプローチは？
 - 加地あの現場を調べ「こんな課題を放置してよいのか」と問うべき
 - 執行部を共感させるため、事前調整は必要。まずは聞くが大事
 - ・議員提出条例の考え方は？
 - 作ればいい、ではない、どんな課題解決につながるかが大事
 - ・よい答弁を引き出すには？
 - どういう答弁を引き出したいのか、引き出せるのかを事前整理する

参 加 者	中 田 中
氏 名	

稲城市議会議長

原島 茂 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成28年 8月 12日

会 派 名 起 風 会

代表者氏名 中 田 中

起風会

会派出張会計報告

視察先

東京都豊島区

8/1 ~ /

1. 運賃 (航空賃)

若葉台駅	⇒ 池袋駅	円 ×	1人 =	483 円
池袋駅	⇒ 若葉台駅	円 ×	1人 =	483 円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円

2. タクシー (レンタカー)

	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円

3. 宿泊料 円 × 人 = 円

4. 土産代 円

5. 写真代 円

6. その他 (振込手数料等) 25,000 円
参加費

合計 25,966 円

以上のとおり報告します

平成 28年 8月 12日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-4

使途項目研究研修費

(領収書等貼付面)

領収証

No. _____

起回会

中田中

様

平成28年8月1日

金額

¥25,000

内
消費税等

現金

但 8月1日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒152-0032

東京都目黒区平町1-9-15

株式会社 地方議会総合研究所

係

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

職 区	田 園 農 林 漁 業 支 援 課	支 出 課	支 出 課	支 出 課	支 出 課	支 出 課
備 考	会 派 出 張 終 了 報 告 書					

出張期日	平成28年8月2日(火)
出張先	議員・職員のための決算審議・地方財政集中講座in東京 (会場:アットビジネスセンター池袋別館804号室)
研究研修・ 調査課題等	「地方自治体の財政分析ー決算カードで読む自治体財政」 講師:兼村高文(明治大公共政策大学院教授)
終 了 報 告	<p>2. 決算カードの分析</p> <p>(1) 財政分析の目的 自治体の健全経営(収支均衡、自主性、財政構造の弾力化)を検証すること</p> <p>(2) 決算カード分析のポイント 以下の点について、類似団体、基準値、指標値と比較して評価する。 財政規模が類似団体より大きければ、その要因を政策や大規模事業から妥当性を検証</p> <p>① 収支状況 実質収支比率(=実質収支/標準財政規模)3~5%が望ましい 実質単年度収支、単年度収支、連結実質収支も確認する (前年度繰越金、積立金取崩額の差などを確認)</p> <p>② 歳入の状況 一般財源の割合を見る →歳入全体の4割程度。4割以上あれば自主性は確保できている</p> <p>③ 市町村税の状況 課税自主権の状況、徴収率などを確認する</p> <p>④ 性質別歳出 義務的経費が抑制されているか、物件費(委託料等)が適正かなどを確認する</p> <p>⑤ 目的別歳出 行政事務配分の割合、一般財源の充当割合を確認する 性質別と目的別のクロス検証には行政コスト計算書を利用する</p>
	<p>⑥ 指数等</p> <p>a. 財政力指数(=基準財政収入額/基準財政需要額) 1以上で交付税不交付団体となる</p> <p>b. 経常収支比率(=経常経費充当一般財源/経常一般財源) 75%程度がよいとされてきたが最近は多くが90%超 臨時財政対策債を除いた場合の数値も合わせて確認する</p> <p>c. 実質公債費比率(特別会計も含む借金の割合)</p> <p>c. 公債費負担比率(=公債費に充当された一般財源/一般財源)</p> <p>c. d. は夕張市以外はほとんど心配不要だが健全化指標として確認</p> <p>e. 将来負担比率:200%を超えると財政運営が厳しくなる (地方債現在高+債務負担行為額-積立金現在高)/標準財政規模 類似団体との比較は、財政状況資料集を見る</p> <p>3. 決算カードと新公会計基準の活用</p> <p>(1) バランスシート等財務書類の必要性</p> <p>(2) 新公会計基準による財務書類の作成</p> <p>(3) 統一的な基準による財務書類とは</p>



	<ul style="list-style-type: none"> ・従来は総務省基準モデルか総務省改訂モデルで財務書類を作成していた →H27年度決算から総務省の統一的な基準による形式に移行する ・ストックや負債の概念が組み込まれたモデルとなり、資産台帳の整備
参加者	中田 中
氏名	

稲城市議会議長

原島 茂 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成28年 8月 12日

会 派 名 起 風 会

代表者氏名 中田 中

起風会

会派出張会計報告

視察先

東京都豊島区

8/2 ~ /

1. 運賃 (航空賃)

稲城駅	⇒ 池袋駅	円 ×	1人 =	442 円
池袋駅	⇒ 若葉台駅	円 ×	1人 =	483 円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円

2. タクシー (レンタカー)

⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円

3. 宿泊料 円 × 人 = 円

4. 土産代 円

5. 写真代 円

6. その他 (振込手数料等) 15,000 円 /
参加費

合計 15,925 円 / /

以上のおおりに報告します

平成 28年 8月 12日 /

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-7

使途項目 研究研修費

(領収書等貼付面)

ICカード残額ご利用明細
 カード番号: ~~XXXXXXXXXXXX~~
 残履歴 (最新 20件)

月日	種別	利用駅	種別	利用駅	残額
07/28	入	若葉台	出	稲城	*2076
08/02	入	稲城	出	京王新宿	*1788
08/02	入	新宿	出	池袋	*1634
08/02	入	池袋	出	新宿	*1480
08/02	入	京王新宿	出	若葉台	*1151

16.08.02 18:16 若葉台駅チ401発行
 ・毎度ありがとうございます
 (1/1) 京王電鉄株式会社

288
154
154
229

(事業名、使途及び内容等)

8/2 議員職員のための決算考査・地方財政集中講座山東京 交通費
 行き 稲城駅 → 京王新宿駅 → 新宿駅 → 池袋駅
 帰り 池袋駅 → 新宿駅 → 京王新宿駅 → 若葉台駅

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-6

用途項目 研究研修費

(領収書等貼付面)

FSC®認証製品

領収証

起回会

中田中

様

No.

平成 28 年 8 月 2 日

金額

¥15,000

内
消費税等

現金

但 8月2日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒152-0032

東京都目黒区平町1-9-15

株式会社 地方議会総合研究所

係

(事業名、用途及び内容等)

(備考)

備考	
会 派 出 張 終 了 報 告 書	
出張期日	平成28年10月6日(木)～7日(金)
出張先	第78回全国都市問題会議in岡山 会場：岡山国際ホテル(岡山県岡山市)
研究研修・ 調査課題等	「人が集いめぐるまちづくり ～国内外に開かれた都市の活力創出戦略～」
終了報告	<p>①基調講演「まちの見方、見つけ方」(池内紀氏) 文学者である池内氏の「我が国の言葉や文化伝統の崩れが子への名付けにまで波及している、危機的状況だ！」に共感、日本人たる所以の再確認が急がれる。</p> <p>②主報告「人口減少社会における都市の活力創出」(大森雅夫岡山市長) 「桃太郎の歴史的秘話」が印象的でしたが、やはり政令市になれた城持ち城下町ならではのメリットを活かした振興策なので現状の稲城には難しい。</p> <p>一般報告①「人を惹き付ける都市空間とその文化力」(陣内秀信法大教授) 歴史やドラマ性のある金沢や川越は素晴らしいが、それらには現状の稲城では太刀打ち出来ない。どちらかというと言根千や西荻なんか台頭する小規模ジモティー感&プラタモリに代表される地形の再評価(バリアフリーはさておきです)に稲城も参戦出来そう。</p> <p>一般報告②「交流とにぎわいのまちづくり」(森下豊樞原市長) 「日本開闢」の地として自前のストーリー武器が豊富過ぎ。岡山市同様、なかなか稲城には落とし込めない。</p> <p>一般報告③「革新的サイバニックシステムによる社会変革・未来開拓への取り組み」(山海嘉之筑波大教授) Society1.0が狩猟採集社会として→S2.0農耕社会→3.0工業→4情報とステップアップしてきた中で「Society5.0の新社会を先取りできれば勝ち組」とする前提で、そのために「新分野開発が出来る人材を育てよう」という内容。【街作りは人作り】という鉄則、「重介護ゼロ社会へ」をハイテク(ロボット介助と認知症への脳科学的な根本解決、あと人間の努力)で実現する方法案には、人口減少社会と日本の技術を生かす方針としてひとつ感銘を受けた。</p> <p>以上を我らが稲城市に当てはめると、現状として稲城は「物語性」という意味での外部への展開が、素材からして弱いと感じる。 起風会としては、今後の観光協会設立に向けた重要な視点として、歴史の有効活用を提案し、今後の市政発展に今回の研修成果を生かして参りたい。</p>
参加者	鈴木 誠
氏名	※中田中は都合により欠席

稲城市議会議長

原島 茂 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成28年 10月 10日

会 派 名 起 風 会

代表者氏名 中 田 中



起風会

会派出張会計報告

視察先

岡山県岡山市

10月6日～10月7日

1. 運賃 (乗車賃)

新百合ヶ丘駅	⇔ 羽田空港	1,340 円 ×	1人 =	1,340 円 ※
羽田空港	⇒ 岡山空港	11290 円 ×	1人 = ✓	11,290 円 ✓
岡山空港	⇒ 岡山駅	760 円 ×	1人 =	760 円 ※
岡山駅	⇒ 岡山国際ホテル	260 円 ×	1人 =	260 円 ※
岡山駅	⇒ 新横浜駅	15200 円 ×	1人 = ✓	15,200 円 ✓
新横浜駅	⇒ 新百合ヶ丘駅	530 円 ×	1人 =	530 円 ※
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円

上記中※の項目については、領収書未取得のため請求から除外

2. タクシー (レンタカー)

⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円

3. 宿泊料 7,700 円 × 1人 = ✓ 7,700 円 ✓

4. 土産代 円

5. 写真代 円

6. その他 (振込手数料等) 参加費 10,000 円 × 1講座 = ✓ 10,000 円 ✓

合計 47,080 円

(請求額: 44,190 円) ✓

以上のとおり報告します

平成 28年 10月 10日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目研究研修費

(領収書等貼付面)

ANA A STAR ALLIANCE MEMBER

領収書
糸城市議会 起風会 鈴木 様

印紙税申告納
付につき
税務署承認済

¥11,290 (税込)
(クレジット支払い ¥11,290含む)

但し、旅客運賃料金として、
上記の金額正に領収致しました。

全日本空輸株式会社

1. 10月6日 ANA 651便 東京⇒岡山

購入日:16-07-25 発行所:ANA
発行日:16-10-06 TKT: 65BZ7Q

本領収書は再発行不可となります。

端末番号: 3262 * 19785

領収書 糸城市議会 起風会 鈴木 様

Receipt
領収年月日 2016.10.-7
金額 ¥15,200 (消費税等込み)

【クレジット扱い】
購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(31921 1枚)
西日本旅客鉄道株式会社
広島駅
広島駅F5発行 20317-01

印紙税申告納
付につき大定
税務署承認済

(事業名、使途及び内容等)

10/6~7 全国都市問題会議の岡山 交通費
羽田空港→岡山空港 岡山駅→新松原駅

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目研究研修費

(備)

領収書
(RECEIPT)

2016/10/06 16:51

岡山ワシントンホテルラザ

岡山県岡山市北区本町3-6-201 Tel (086)231-9111
3-6-201 HONHACHI-KITA, OKAYAHASHI, OKAYAMA, JAPAN
ワシントンホテル株式会社

ご芳名 起風会 様

部屋番号 510 人数 1
(ROOM NO) (PERSONS)

到着日 2016/10/06 出発日 2016/10/07
(ARRIVAL DATE) (DEPARTURE DATE)

ビル番号 0600187871
(BILL NO)

16/10/06 510 ご宿泊代 7,700
現金 7,700

ご利用合計 7,700
お支払合計 7,700
ご請求残高 0
(内消費税等 570円)

ご署名

ご利用頂きましてありがとうございます。
上記料金正に領収いたしました。

The amount is received
with many thanks

印紙申告納
付につき
お返金
印紙申告納
付につき
お返金

所在地: 名古屋市中区

入室後は各ドアに表示してある非常口と
2方向の避難経路をご確認下さい。

(備)

ページ: 1

整理番号

使途項目 研究研修費

会議参加費領収書

船城市議会

起風会

鈴木 様

金 10,000 円

但、「第78回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。





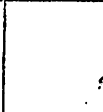
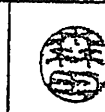

平成28年10月6日

第78回全国都市問題会議実行委員会

会 長 大 森 雅 夫

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

						
備考						
会 派 出 張 終 了 報 告 書						

出張期日	平成28年11月8日(火)
出張先	指定管理者制度集中セミナーin東京 (会場:アットビジネスセンター池袋駅前別館)
研究研修・ 調査課題等	「指定管理者制度と公共施設」 講師:幸田雅治(神奈川大法学部教授・弁護士)
	<p>1. 公共経営とは ※民営化することではない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H12地方分権一括法等で地方自治体の権限拡大→自己責任・決定 ・民間に任せれば必ずうまくいくわけではないが民間の専門性を活かせば、市民の期待に応えられる可能性高まる ・市民自治の重要性→住民参加・協働の取り組みは盛んだがまだまだ成功例は少ない ・行政サービスにおける行政と民間の役割分担はまだ過渡期 <p>2. 指定管理者制度とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H15改正地方自治法により公施設(幅広い対象)の管理運営を民間・NPO等に委託できるようになった ・ポイント①議会議決を経て「法人その他の団体」を指定 ・ポイント②「手続き、業務範囲、期間、基準等」を条例で独自に定めることができる ・ポイント③指定管理者による主体的管理が可能 ・導入状況(H28.3時点) 76788施設で導入(うち民間委託は約4割の29004施設) ・指定管理の議案提出は、後戻り不可のところまで検討が進んでから出てくるので否決しにくい、必要であれば否決すべき <p>3. 制度採用の可否</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、①企業的经营手法の導入、②民でできるものは民へ ③市民協働(パートナーシップ型行政)、④行政の透明化、などを背景に採用されてきた ・しかし以下の理由で民営化に適さない事業・業態もある ①成果の定量化が困難、②費用対効果だけで評価できない ③住民=顧客ではなく主権者、④公民の真の分権化進まず →行き過ぎた民間委託の弊害-刑務所、水道、保育所など ・H15当初は「経費縮減」を主目的としていたが、H19通知からは「より効果的・効率的な運営」に変えた(間違いは正したはず) →しかし経費縮減を目的とする委託が無くならないのが現状 ・留意すべき意見 引継ぎがしっかり行われぬ、短期間ではノウハウ蓄積できない 期間後の雇用が不確定で人材確保が困難、コスト重視ではサービスの質・量が確保できない ・運用上の留意事項 公共サービスの水準を確保すること、外部有識者等の視点を導入すること、必要な体制・損害賠償保険加入などを盛り込むこと 委託料の積算根拠を明確にすること →H22通知に反映、国より詳しく指定された



4. TSUTAYA図書館の惨状

- ・問題点は、委託先が公共サービスを担える事業者ではないこと
公共図書館運営の素人、購入図書が不適切、Tポイントの個人データを共同利用、市民の利用実績をマーケティングに利用
→地元書店はますます衰退、単なるブックカフェで地域貢献0

5. 条例制定について

- ・チェックすべき点
 - 公募の場合、指定手続きも条例で定めるべき
 - 指定に至るまでのプロセスに議会も関与させるべき
 - 例) 静岡県(ヨット転覆事件をきっかけに改善)
 - ①公募・非公募の基準明示(非公募の条件を示す)
 - ②委託期間を明示(5年目安)
 - ③実績評価の仕組みを明示(年度評価・期間評価の併用、期間評価の結果は次回公募時に加点など)

6. 議会・議員の役割

- ・議員提案で「指定管理者基本条例」を定めることを薦める
期間設定や評価になじまない施設(病院等)は指定管理にすべきではない→条例で対象外にするとよい
- ・指定管理者指定議案を審議する際の留意事項
公募・非公募の理由、選定基準の確認
事業者の経営状態の安定性、委託期間の適切性
- ・適正な管理(モニタリング)を確保するため、
事業報告書および利用者満足度をチェック(特に第三者による評価がなされているか)
- ・(委託先で問題が発生した場合)議会の危機対応も必要
例) ふじみ野市大井プール事故(H18.7.31)
8/31 再発防止決議
12/18 議会から調査報告書・意見書提出
時間が無く根本原因調査できなかつたと言い訳が前面に出てる、本来議会で事前の求めるべき基準作成を要望、議会の報告を求めるなど、
当たり前のことしか記載していない
→もっと早く、意味のある調査・報告をすべき

7. 公共施設マネジメントと住民の合意形成

- ・公共施設の老朽化、社会保障費の増大、市民ニーズの多様化への対応要→基本方針を定め、市民との合意形成をプロセスに組み込むことが必要
- ・公共施設等総合管理計画策定指針(H26.4総務省)
→全庁的な取組体制を作るのが望ましい
例) さいたま市ではH24から取り組み実施
ハコモノとインフラの両方を対象
ハコモノ3原則—①新規は原則無し、②建替える場合は複合施設で、③総量は縮減する
インフラ3原則—①現状コスト維持、②ライフサイクルコスト縮減、③効率的に新ニーズへ対応
- ・住民との合意形成の留意点
施設の数から質への転換、多様な市民ニーズを取り込む
市民ニーズを踏まえ多機能化
→施設の「社会的効果(価値)」を明確にして共有する
- ・市民参加のポイント
 - ①情報が伝わっているか、②参加しやすい機会があるか
 - ③学習する機会があるか、④自ら意見をまとめ伝えられるか
 - 例) 鶴ヶ島プロジェクト
WS形式で駅舎デザインを決定。公募で3モデル選定
その後市民討議を経て3モデルの長所を合わせ建設

	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ(WS)は市民討議の方法になじむ <ul style="list-style-type: none"> →行政は変な人が来るのを恐れるが、やってみると意外とそうでもない。運営のコツは、事務局も市民に任せることと、徹底した情報開示(お金が無いことも伝える) おわりに ・あるべき公共経営とは <ul style="list-style-type: none"> 議会が条例で自治体を縛ることで公共性を担保する →首長が変わっても簡単には変えられない ・日本の公共政策に欠けている点 <ul style="list-style-type: none"> ①長期的視野、②エビデンスベースの政策論議、③政策形成への幅広いアクターの参加、④政策課題の可視化と議論の透明性の確保←これは議会の責務
<p>参加者 氏名</p>	<p>中田 中</p>

稲城市議会議長

原島 茂 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成28年 11月 22日

会 派 名 起 風 会

代表者氏名 中 田 中

起風会

会派出張会計報告

視察先

東京都豊島区

11/8 ~ /

1. 運賃 (航空賃)

※往路は、東京ビッグサイトでの展示会見学から直行したため請求いたしません。

池袋駅	⇒ 若葉台駅	円 ×	1人 =	483 円 / ✓
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円

2. タクシー (レンタカー)

⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円
⇒	円 ×	台 =	円

3. 宿泊料 円 × 人 = 円

4. 土産代 円

5. 写真代 円

6. その他 (振込手数料等) 15,000 円 / ✓
参加費

合計 15,483 円 / ✓

以上のとおり報告します

平成 28年 11月 22日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目研究研修費

(領収書等貼付面)

領収証

起風会
中田 中

様

No.

平成28年11月8日

金額

¥15,000

内

消費税等

現金

但 11月8日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒152-0032

東京都目黒区平町1-9-15

株式会社 地方議会総合研究所

係

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

A-11.12

市長	副市長	学務部長	保健部長	文化部長	市民部長	総務部長

出張終了報告書

出張期日	平成28年11月15日(火)
出張先	第18期自治政策講座in横浜2 「自治体・地域課題の最先端を知る」 (会場：波止場会館(横浜市))
研究研修・ 調査課題等	<p>「地域で老いる—介護と医療の連携へ自治体の役割」 講師：高橋紘士(一般財団法人高齢者住宅財団理事長)</p> <hr/> <p>「自治体の議会が今問われていること —減っていく議員定数と民主主義」 講師：竹下 譲(自治体議会政策学会会長)</p>
終了報告	<p>「地域で老いる—介護と医療の連携へ自治体の役割」</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本は人口ボーナス期から人口オーナス期へ →人口維持しようと過剰投資に陥ることなく、上手に縮んでいく時代に入る。一度決めたら後戻りできない日本は縮むのが下手 →かつてマスコミはDINKSを持って囃したが今は議論が裏返っている 老々介護が問題になっているが、最近は看取りや老々葬儀が問題になりつつある。葬儀ビジネスが様変わり(送る側も定年世代) 高齢化問題の本質は、生産年齢層がシュリンクすることである(社会保障の支え手を支援する消費増税は延期すべきではない) 今後は、治る見込みが無いなら地域で老後の面倒をみてもらう時代 孤立死(独居で死亡)と孤独死(社会的つながりが無い)は違う →孤立はよいが、孤独は問題(孤独は認知症の遠因にもなる) 地域の伝統・文化を守りつつ、上手にダウンサイジングしていく必要がある。縮小時代は住民に耳障りのよいことだけ言ってもらえなくなる 1970年モデル(終身雇用、専業主婦)から2025年モデル(医療介護と福祉子育て支援を含めた支え合うまちづくり)へ(社会保障制度国民会議報告書より) 寝たきり老人の増は逆説的には寝たきりの受皿があるからである おむつを充てる、ベッドに縛るは人間の尊厳を傷つける →ユマニチュード(フランス発祥のケア方法) 人間として接する(見つめる、触れる、語り掛ける)ことでスムーズなケアができるようになる画期的方法 地域共生社会に向けて、排除隔離モデルから包摂モデル(支え合いを支援する仕組み)への移行が必要となる 事例)北海道当別町、埼玉県和光市など <hr/> <p>・フレイル予防(介護が必要となる前のプレ介護期に適切な対策をとることで要介護状態に陥らないようにする取り組み) →要介護に陥らないための3つの柱</p> <ol style="list-style-type: none"> ①栄養(食と航空機能のケア) ②身体活動(運動や社会活動など) ③社会参加(就労、余暇活動、ボランティアなど) <hr/> <p>「自治体の議会が今問われていること—減っていく議員定数と民主主義」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 議員数の減少 <ul style="list-style-type: none"> 地方議員の総数 H10: 6.3万議員→H22: 3.3万議員 市議会の平均議員数 H18: 30.9議員→H27: 23.8議員

28.11.22

2. なぜ議員が減少するのか

- ・議員定数削減は、ほとんど議員自らの提案。経費節減が建前だが、本音は住民の批判が強いから
- ・様々な逆風で、議員削減の圧力は強まるばかり
マスコミが政務活動費の不正使用を次々報道（富山市議、都議等）傍聴住民が議会の審議状況を見て「議会不要論」発生

3. 議会・議員は責務を果たしているか

- ・町村制検討時は、大幅な自治を認めた画期的法案だったが大久保利通暗殺で後退→行政区画へ
- ・地方議会は、中央政府から分権された事件のみ扱う、自らの招集権も予算提出権も無い「受け身の機関」となった
ただし議決結果の検査・報告を求める「監察権」は持つ
→戦後も日本側のごまかしで受け身機関の位置づけは継続
- ・多くの議員は「一般質問で住民の声を伝えている」と主張するが
位置づけはあくまでも行政への注意喚起や要望でしかない
→実施するか否かは行政次第（実態はほとんど聞かない）
- ・議会は行政に要望する機関や住民の声を伝える機関ではない
→自治体の意思決定機関である。議員はその重要性を自覚し、議員個人ではなく議会全体でまとまる必要がある

4. 住民の信頼を獲得するには

- ・議決機関としての自覚と責任を持ち、住民意思の反映に努力することが求められる→住民との連携が重要
- ・決算審査を重視する
- ・住民に対し「何を、なぜ議決したか」理解してもらえる審議を
→住民意見を議場で披露する必要がある。議会報告会は事後報告だけでなく事前に意見を聞く機会も設ける
- ・多様な住民の意向を反映させるには、様々な立場の議員が必要
→若者、女性を増やしバランスのとれた構成に。増員も必要
- ・受け身の姿勢から脱却するには
 - ①まず現場を知る→委員会視察ではなく議員一人ひとりが現場に赴き本音をつかむ
 - ②関係者から話を聞く（例）学校であれば、先生・生徒・親、教育委員会・校長などから直接聞く
 - ③改善策を検討→住民に公表→関係機関と交渉
例）都教委や国などであっても臆せず交渉
→ここまでのことを定期的の実施すれば必ず関心をもってもらえるはずである

参加者	中田 中
氏名	

稲城市議会議長

原島 茂 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成28年 11月 22日

会派名 起風会

代表者氏名 中田 中

起風会 会派出張会計報告

視察先 神奈川県横浜市 11/15 ~ /

1. 運賃 (航空賃)

若葉台駅 ⇒ 日本大通り駅 円 × 1人 = 806 円 / ✓

※帰路は打合せ等のため飯田橋・下北沢経由で帰宅したため請求いたしません

⇒ 円 × 人 = 円
 ⇒ 円 × 人 = 円
 ⇒ 円 × 人 = 円
 ⇒ 円 × 人 = 円
 ⇒ 円 × 人 = 円
 ⇒ 円 × 人 = 円
 ⇒ 円 × 人 = 円

2. タクシー (レンタカー)

⇒ 円 × 台 = 円
 ⇒ 円 × 台 = 円
 ⇒ 円 × 台 = 円
 ⇒ 円 × 台 = 円
 ⇒ 円 × 台 = 円

3. 宿泊料 円 × 人 = 円

4. 土産代 円

5. 写真代 円

6. その他 (振込手数料等) 20,000 円 / ✓
 参加費

合 計 20,806 円 / ✓

以上のおり報告します

平成 28年 11月 22日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目研究研修費

(領収書等貼付面)

ICカード残額ご利用明細
 カード番号: [REDACTED]
 残額履歴 (最新 20件)

日付	種別	金額	利用先	残高
1115	入	3830	千葉店	
1115	入	3666	京王稲田	164
1115	入	3450	武蔵小杉	216
1115	入	3024	日本大通	426

毎度ありがとうございます
 (1/1) 京王電鉄株式会社

(事業名、使途及び内容等)

1/15 自治政策講座in控塔2 交通費

行き: 千葉台駅 → 京王稲田駅 → 稲田駅 → 武蔵小杉駅 → 東武蔵小杉駅 → 日本大通り駅
 帰り: 打合せ等の石の飯田橋 下北沢 経由で帰宅し石の請求せず

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目研究研修費

(領収書等貼付面)

領 収 証

起風会 中田 申 様

No. _____

★ ¥20,000-

但 第8期自治政策講座 in 横浜 受講料として

2016年 11月 15日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

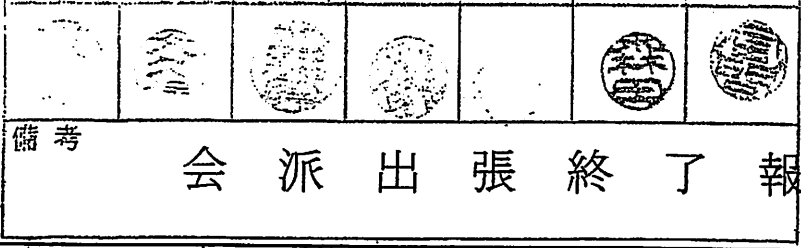
イマジン第2オフィス

自治体議会政策学会

会長 竹下 謙

(事業名、使途及び内容等)

(備考)



備考

報告書 終了出張派遣会

出張期日	平成28年11月18日(金)
出張先	子どもの貧困集中講座in東京 (会場:アットビジネスセンター池袋駅前603号室)
研究研修・	「子どもの貧困格差問題」 講師:千葉喜久也(東京有明医療大准教授)
調査課題等	
	<p>はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貧困状態にある子供の割合は6.4人に1人(15.7%) うち2人に1人がひとり親家庭 ・世帯収入と子供の成績には相関がある →進路の格差(高卒後の進学率、一般家庭71%、児童養護21% 生活保護家庭31%、母子家庭41%) <p>1. 子供を取り巻く環境と貧困</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の貧困=親の貧困 親の自助努力・個人の責任と考える人が多いが実態は異なる →社会的な要因、環境の影響大(個人の努力では解決困難) 親が貧困だと親自身が「がんばらなくていい」価値観に 支配されており、子供に「勉強しなくていい」「学校なんか やめていい」となり、貧困の世代間連鎖の要因となる ・貧困の連鎖を断つには勉強の力が必要 「子供の貧困」の背後に潜む、親・家庭の問題に対処すべき →親・家庭への支援が子供への支援につながる 親が勉強の場を提供できないなら社会が提供してあげるべきである ・子供には交流の場(人のやさしさに触れる機会)も必要 人のやさしさに触れず育った子供は「第4の障害児」と言われる →キレやすく乱暴な性格に育つ ・子供に自信を持たせ、ポジティブな自立観をもたせることが必要 できることを認め、ほめることで勉強にも取り組むようになる 怒ることは簡単だが、それでは立ち直れない 学ぶことで強くなり自立してもらおう →そのためには居場所づくり、学習支援が必要 <p>2. 子供の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、暴力、不登校などで、意欲や自尊心が低下し、生きる力も 失われている→子供の自殺が多いのは先進国では日本くらい ・子供は、現状の不安をごまかすため、より大きなスリル・興奮を 求め、問題行動をとる 例)親からの無視・放置を恐れ、夜の街を出歩く <p>3. 親・家庭の社会的状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貧困→ワーキングプア→格差社会・無縁社会・使い捨て労働 フリーター平均年収106万、非正規雇用1733万人、生保受給者216万 ・就学援助率は、最高(大阪)28.1%、最低(静岡)5.6% →就学児への直接支援なので継続すべき。安易な削減には反対 ・五重の排除 「教育から」「企業から」「家族福祉から」「公的福祉から」 「自分自身から(自己肯定感、自尊感情の剥奪)」 →北欧では離婚や破産をしても社会保障制度により生活できるが 日本では無理→貧困状態に陥る

収受
稲城市議会
28.11.22
第 号

終 了 報 告

- ・親自身が問題を抱えている
精神不安定・人格障害の疑い、アルコール・薬物依存、暴力等67.2%
多額の借金20.6%、社会的な孤立22.8%、親が未熟52.3%、など
- ・親の学歴別貧困率
中卒（高校中退含む）44.9%、高卒21.9%、大卒以上8.3%
→高卒＋普通免許取得が貧困抑止の最低ライン
- 4. 貧困対策について
- ・子供と関わって見えてきたこと
親戚・隣近所から見捨てられ、家庭内や遊び仲間の中だけでに
閉じこもってしまう→外部の大人と関わり合うことが大事
- ・困難を抱えた子供・若者の居場所（他者との関係性を育む場所）
を提供し
 - ①他者と話し、受容・承認されることを実感する
 - ②他者との出会い・交流で、社会との関わりを広げる
 - ③問題のある学校・職場・家庭からの一時避難場所となる
- ・H22子ども若者育成支援推進法、H26子供の貧困対策法
 - ①関係者間の連携の推進
電話して呼びかける程度の表面上の連携では意味が無い
直接会ってアドバイスするまでやらないとダメ
 - ②スクールソーシャルワーカー（SSW）の増員
環境調整できる人材がやらないと効果でない（教員OBでは
そこまでできない方が多い）
- ・困難を抱える世帯の子どもへの切れ目のない支援
→離婚家庭の増で必要性が高まっている
例）若い世代のできちゃった婚からの離婚で母子家庭が増える

まとめ

- ①学習支援は貧困の連鎖を防ぎ、子供の真の自立のために行う
- ②中卒者の貧困リスクが高いので高卒以上の学歴取得を目指す
- ③子供の支援を契機に親への支援につながる
- ④ひとり親家庭の子どもへの支援と、ひとり親家庭への支援を
連携させる
- ⑤学習支援は、学校や教育委員会との連携が重要

事例紹介

- ・学習支援事業は人口5万人でもやれることはある（ただし担い手は
ボランティア中心となる）
- ・稲城市に近い人口8万人規模の事例（北海道岩見沢市）
市直営による運営は無理だが、シルバー人材センターへの委託
方式なら実現可
→教員OBが補習塾を運営
- ・今後の課題
生活保護世帯の中学生から始めて、徐々に対象を広げていくとよい
教育委員会と連携していない自治体多い→連携すべき
実態調査している自治体は費用対効果まで分析して着手しているが
してない自治体は割高な委託料の割に参加率が低い傾向である

参 加 者
氏 名

中 田 中

稲城市議会議長

原 島 茂 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成28年 11月 22日

会 派 名 起 風 会

代表者氏名 中 田 中

起風会

会派出張会計報告

視察先

東京都豊島区

11/18 ~ /

1. 運賃 (航空賃)

稻城駅	⇒ 池袋駅 /	円 ×	1人 =	442 円 / /
池袋駅	⇒ 若葉台駅 /	円 ×	1人 =	483 円 / /
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円

2. タクシー (レンタカー)

	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円

3. 宿泊料 円 × 人 = 円

4. 土産代 円

5. 写真代 円

6. その他 (振込手数料等)
参加費

15,000 円 / /

合計 15,925 円 / /

以上のとおり報告します

平成 28年 11月 22日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目 研究研修費

(領収書等貼付面)

ICカード残額ご利用明細
 カード番号：~~XXXXXXXXXXXX~~
 残額履歴 (最新 20件)

年月日	種別	利用駅	種別	利用駅	残額
16.11.18	入	若葉台	出	稲城	*1534
16.11.18	入	稲城	出	京王新宿	*1246
16.11.18	入	新宿	出	池袋	*3602
16.11.18	入	池袋	出	新宿	*3448
16.11.18	入	京王新宿	出	若葉台	*3119

16.11.18 18:06 若葉台駅チカ01発行
 ・毎度ありがとうございます
 (1/1) 京王電鉄株式会社

(事業名、使途及び内容等)

11/18 子どもの貧困集中講座 山東京 交通費
 行王→稲城駅→京王新宿駅→新宿駅→池袋駅
 帰り 池袋駅→新宿駅→京王新宿駅→若葉台駅

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

用途項目 研究研修費

(領収書等貼付面)

領収証

No.

起風会
中田 中

様

平成28年11月18日

金額

¥15,000

内
消費税等

現金

但 11月18日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒152-0032

東京都目黒区平町1-9-15

株式会社 地方議会総合研究所

係

(事業名、用途及び内容等)

(備考)

備考						
会 派 出 張 終 了 報 告 書						

出張期日	平成29年2月13日(月)～14日(火)
出張先	大阪府泉佐野市
研究研修・ 調査課題等	「音楽で介護予防 泉佐野元気塾」 「一般財団法人泉佐野電力の事業」
終了報告	<p>泉佐野市視察(以下視察と呼ぶ)では午前中に「一般財団法人泉佐野電力の事業」について、午後に「音楽で介護予防 泉佐野元気塾」について学ばせていただいた。</p> <p>「一般財団法人泉佐野電力の事業」においては、新電力の財団法人を市が立ち上げて、公営施設全般の電気料金改善、クリーンエネルギーの使用、さらには同財団法人で上がる利益から、市に対して用途特定の寄付を数百万単位(将来的にはもっと寄付する予定)するというシステムになっており、市としてはメリットだらけ。ただし、民業圧迫にならないようにすることや、最寄りの関西空港の広大な太陽光発電を取り入れていないことなどには課題がある模様。これを我々が稲城市に当てはめると、稲城では入札の上で事業者から電力を購入する形式となっているが、上述の民業圧迫の課題が解決できるならば同様の事業を営むメリットもあるのではないかと考える。</p> <p>次に、「音楽で介護予防 泉佐野元気塾」においては第一興商のカラオケ機器が介護予防専用に発展進化したもので、そこに指導員が加わることでダンスやクイズなど交えた楽しく健康維持ができるというもの。市内の40か所もの集会施設に同機器をリース導入することで、各地域における介護予防の促進が為されており、特に「カラオケだけ楽しみたい」という方々にも気軽に参加する理由として定着しつつある。また別のメリットとして、各集会施設における音響のみとしての使用も出来ることから、自治会・町会にとっても有用である。これを我々が稲城市に当てはめると、特に高齢男性に来てもらうのに「カラオケならば」という方も一定数おられるので有効かと考える。また、各集会施設に対する設備付帯にもなるので地域に対する貢献にもなる。課題としては、一台につきリース料が年間20万円ほど発生するので、そのランニングコストは注視すべき。</p> <p>起風会としては、今後の市政発展に今回の研修成果を生かして参りたい。</p>
参加者	鈴木 誠
氏名	※中田中は都合により欠席

稲城市議会議長

原島 茂 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成29年 2月 15日

会 派 名 起 風 会

代表者氏名 中 田 中



起風会

会派出張会計報告

視察先

大阪府泉佐野市

2月13日～2月14日

1. 運賃 (乗車賃)

新百合ヶ丘駅	⇒ 小田原駅	627 円 ×	1人 =	627 円
往復)新大阪	⇔ 難波駅	560 円 ×	1人 =	560 円
往復)なんば駅	⇔ 泉佐野駅	1180 円 ×	1人 =	1180 円
小田原駅	⇒ 東京駅	3220 円 ×	1人 =	3220 円
新宿駅	⇒ 新百合ヶ丘駅	308 円 ×	1人 =	308 円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円
	⇒	円 ×	人 =	円

2. タクシー (レンタカー)

新百合ヶ丘駅	⇒ 自宅	1000 円 ×	1台 =	1000 円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円
	⇒	円 ×	台 =	円

3. 宿泊料 (新幹線代を含む) 22,500 円 × 1人 = 22,500 円

4. 土産代 円

5. 写真代 円

6. その他 (振込手数料等) 参加費 1,000 円 × 1講座 = 1,000 円

合 計 . 30,395 円

以上のとおり報告します

平成 29年 2月 15日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目 調査費

(領収書等貼付面)

カード残額ご利用明細
 カード番号:
 残額履歴 (最新 20件)

日	種別	利用駅	種別	利用駅	残額
0208	入	新百合丘	出	小田原	*2675
0213	入	新百合丘	出	小田原	*2048
0213	物販				*1105
0213	入	大阪市交	出	大阪市交	*825
0214	現金	南海電鉄			*5825
0214	入	南海電鉄	出	南海電鉄	*5235
0214	入	南海電鉄	出	南海電鉄	*4645
0214	入	大阪市交	出	大阪市交	*4365
0215	入	小 新宿	出	新百合丘	*4057

2017.02.15 00:34 新百合丘駅 TO 6 発行
 毎度ありがとうございます。 小田急電鉄

稲城市議会 起風会

領 収 書

現・チ・ク・割引 No.5940
 日付 '17年02月15日
 車番 000560 00
 基本運賃 ¥1000円
合計 ¥1000円

上記の通り領収致しました
 御乗車有難うございました

タクシーの御用命は
 島田タクシー

お忘れ物やお気付きの点は
 川崎個人タクシー協同組合
 044-222-1616
 神奈川県個人タクシー協会

新百合丘駅
 自記

稲城市議会 領 収 書
 起風会 鈴木 様

No. 10044793532

2017年2月14日

金額		百万		千	7	百	2	円
----	--	----	--	---	---	---	---	---

但し

精 算 代 金

上記金額確かに領収いたしました 「消費税等込み」

東海旅客鉄道株式会社
 東京駅 現金出納社員

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

小田原駅 → 東京駅

政務活動費領収書等添付用紙

用途項目 調査費	整理番号
(領収書等貼付面)	

No. JTB17020914371

2017年02月09日

領 収 証



このたびは、ご利用誠にありがとうございます。
以下のとおり、領収いたしました。

起風会・鈴木誠 様

金額 ¥22,500-

ご予約番号：5630928344-001

2月13日出発、ご旅行代金として（クレジットカードにてご入金）

株式会社 i. JTB

東京都品川区東品川二丁目3番11号
〒140-8602

(事業名、用途及び内容等)
(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目 調査費

(領収書等)

様式第2号



納付通知書兼領収証書
返納

市町村コード 272132 議会 議会事務局

(払込人)

稲城市議会 起風会 様

金額

1,000 円

(細節・摘要)

雑入視察受入費用 (議会事務局)

視察資料代 (@1,000×1名分)

会計 010 一般会計

年度-納付書番号

区分 0 現年

28 - 0032339

款 19 諸収入

項 05 雑入

目 03 雑入

節 02 雑入

上記の金額を29年2月14日までに本市指定
金融機関等に納付して下さい。

平成29年2月14日

泉佐野市長



領収日付印

上記の金額
領収しました。

泉佐野市会計管理者

(事業名、

29. 2. 14

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

D-1

使途項目 資料購入費

(領収書等貼付面)

No. 049953

領 収 証
稲城市議会 起風会
中田 中 様



金額 ¥16,200-

但し購読料 28/4月~28/9月として
平成 28年 4月 27日 (コンビニエンスストア払)

上記の金額正に領収致しました

印 収
紙 入

株式会社 日本教育新聞社

東京都港区虎ノ門2-8
〒105-8436 電話 03(55)074828

扱
者
印



※上記発行先・金額の訂正は無効です。

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

用途項目 資料購入費 (領収書等貼付面)	整理番号
	D-2

領 収 証

No 094057

起風会 中田 中

殿

(5320019518)

¥ 90,720



但し 日経グローバル 年間購読代金として
(2016年4月~2017年3月)

上記の金額正に領収いたしました

2016年 5月 25日

港区白金 1-17-3

株式会社 日経BPマーケティング

扱 印



(事業名、用途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

D-3

使途項目 資料購入費

(領収書等貼付面)

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
28-05-24	[REDACTED]	[REDACTED]
取扱店	[REDACTED]	
払込口座	[REDACTED]	
払込金額	*90,720	料金 (*280)
		振替受付票 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)
入金額	*100,000	
おつり	*9,000	
年金 新規お受取りキャンペーン 実施中！詳しくは、貯金窓口へ。		

印紙税申告納付につき趣町税務署承認済

(事業名、使途及び内容等)

日経グローバル購読料振込手数料

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

D-4

使途項目 資料購入費

(領収書等貼付面)

領 収 証

起風会 中田中様 No. _____

★ 円 1,700-

但 書籍代金として イギリスの22土議員憲閣記

2016年11月15日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5

イマジン出版株式会社

TEL03(3942)2520 FAX03(3942)2522

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

D-5

使途項目 資料購入費

(領収書等貼付面)

No.

領収証

起会 中田 中様

金額

¥58,968

但 自治体情報誌デーファイル(2016年4月号~17年3月号)誌代

2017年3月21日 上記正に領収いたしました

内

消費

収入印紙

200

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

イマジン出版株式会社

代表取締役

片岡

幸三

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

E-1

使途項目 広報費

(領収書等貼付面)

No. 097818

領 収 書 2016 年 4 月 9 日

氏名 起風会 鈴木 誠 様

金額

		7	4	8	4

 円也

但B4.2100枚を折込日として

上記金額正に領収致しました。

Y&C 読売センター

収 入
印 紙

Y&C 新百合ヶ丘

読売センター 〒206-0823
稲城市平尾2-8-7
TEL042-331-3980

担当者

訂正したもの、担当者印又はサインのないものは無効です。

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

使途項目 広報費

整理番号

E-2

領収済御請求書

下記の通り領収いたしました

No. 1
2017年3月31日


起風会 御中

鈴木 様

ADVERTISING AGENCY
株式会社宣伝館
東京支社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-9-10 9F
TEL.03-3517-1122(代) FAX.03-3517-1123
大阪本社 東大阪市高井田中4-1-19 宣伝館ビル TEL.06-4308-3300
URL <http://www.sendenkan.com>

品名	B4チラシ印刷・折込の件
日程	2017年3月31日
取引(支払)条件	下記の通り

税込合計金額 **¥130,000**

担当 

尚、振り込み手数料はご負担願います。

件名	数量	単価	金額	備考
<完全データご支給>				
B4 4/4 コート53kg 印刷 袋断裁 一式	23,350 枚		62,500	両面フルカラー
納品代(東京都 折込センター)	18,350 枚		2,500	
納品代(東京都 ご自宅)	5,000 枚		1,500	
B4新聞折込代(東京都 多摩)	18,350 枚	2.95	54,133	定価3.40円/枚
調整値引き	一式		-262	
		小計	¥120,371	
		消費税	¥9,630	
		合計	¥130,000	

政務活動費領収書等添付用紙

使途項目 通信費	整理番号

G-1.2

支 払 証 明 書							
金 額			6	0	0	0	0 円
但し、				理由			
通信費として				各人の活動範囲内において支出を行い、			
2,500円×12ヶ月×2人=60,000円				引き落とし等によるため。			
上記金額を支払ったことを証明いたします。							
稲城市長 殿				平成29年3月31日			
				起風会 代表 中田 中			
※理由欄には、領収書を徴収できない理由を附記すること。							

稲城市

(事業名、使途及び内容等)
(備考)

整理番号

H-1

使途項目 事務費

(領収書等貼)

KS **新製品が安い**
ケースデンキ

お買上げ明細

2016年 9月23日(金) 18時37分

【お名前】 (0000094626506)

カタ アカ

中田 中

様

会員番号 0110006157142

<明細>

1 インクカートリッジ ・ 持帰

エプソン

4988617143517 IC4CL69

5%値引対象 1点 ¥3,939

1点/合計 ¥3,939
(内消費税等 ¥291)

[0111143-011159337-2310005717222]

領収証

2016年 9月23日(金) 18時37分

起風会

様

金額 ¥3,939

(内消費税等 ¥291)

但し、お品代として

上記金額正に領収致しました。

<決済内訳>

現金 ¥3,939

(内消費税等 ¥291)

現金お預かり ¥4,009

お釣り ¥70

(事業名、係)

ケースデンキ稲城若葉台店

電話番号 042-350-5011

販売担当者

(備考)

店コード 2200001111431

売上伝票番号 2310005717222

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

H-2

使途項目 事務費

(領収書等貼付)

KS **新製品が安い**
ケースデンキ

お買上げ明細

2016年12月 4日(日) 11時40分

【お名前】 (0000094626506)

カタアサ

中田 中

様

会員番号 0110006157142

---<明細>---

1 インクカートリッジ ・ 持帰
エプソン
4988617143586 ICBK69L
5%値引対象 1点 ¥1,723

1点/合計 ¥1,723
(内消費税等 ¥127)

[0111143-011116798-2310013706737]

領収証

2016年12月 4日(日) 11時40分

起風会

様

金額 ¥1,723

(内消費税等 ¥127)

但し、お品代として

上記金額正に領収致しました。

---<決済内訳>---

現金 ¥1,723
(内消費税等 ¥127)

(事業名、使途)

現金お預かり ¥5,025
お釣り ¥3,302

ケースデンキ稲城若葉台店
電話番号 042-350-5011
販売担当者

(備考)

店コード 2200001111431
売上伝票番号 2310013706737

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

H-3

使途項目 事務費

(領収書等貼付面)

コードNo 5275637

領 収 書

No.P 517360

稲城市議会 起風会 殿

平成29年3月24日

金額 百万 千 円
¥ 1285

但し、用紙代として
上記金額正に領収致しました。
(上記金額には消費税等
95円を含みます)

明 細	売 掛 金	そ の 他
入金、R区分		
現金	1285	
小切手		
30 振 込		
郵 振		
31 手 形		
32 相 殺		
合 計	1285	
振込銀行		
手形期日No.	平成 年 月 日.No.	

収
入
印
紙

理想科学工業株式会社

本社 〒108-8385
東京都港区芝5-34-7 田町センタービル

取扱者



この領収書は再生紙を利用しております。

金額訂正または改変したものおよび社印、扱者印のないものは無効です。

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

使途項目 事務費

整理番号

2017/4/1

Amazon.co.jp - 注文番号 250-0859613-8457428

H-8



注文番号250-0859613-8457428の領収書

このページを印刷してご利用ください。

起風会 中田 中 様

発行日: 2017年4月1日
注文日: 2017年3月30日
Amazon.co.jp 注文番号: 250-0859613-8457428
ご請求額: ¥ 8,605

2017年3月30日に発送済み

注文商品	価格
3点 EPSON 純正インクカートリッジ ICBK69L 大容量ブラック 販売: Amazon Japan G.K.	¥ 1,503
コンディション: 新品 1点 ポストイット 見出し お買い得パック 50x15mm 100枚x10個 700RP-BGK 販売: Amazon Japan G.K.	¥ 394
コンディション: 新品 1点 ポスト・イット 強粘着見出し 50x15mm 90枚x25個 蛍光 7001SS-NE 販売: Amazon Japan G.K.	¥ 927
コンディション: 新品 5点 コクヨ コピー用紙 PPC用紙 共用紙 FSC認証 64G 500枚 A4 KB-39N 販売: Amazon Japan G.K.	¥ 555
コンディション: 新品	

お届け先住所:
中田 中
206-0824
東京都 稲城市若葉台3-1-1
若葉台ワルツの杜F401

商品の小計: ¥ 8,605
配送料・手数料: ¥ 0
注文合計: ¥ 8,605

配送方法:
お急ぎ便

この配送分のご請求額: ¥ 8,605

支払い情報

支払い方法:
[] | カード番号の一部: []

商品の小計: ¥ 8,605
配送料・手数料: ¥ 0

請求先住所:
中田 中
206-0824
東京都 稲城市若葉台3-1-1
若葉台ワルツの杜F401

注文合計: ¥ 8,605

ご請求額: ¥ 8,605

クレジットカードへの請求

[] (下4けたが []) : 2017年3月30日: ¥ 8,605

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目 事務費

(領収書等貼付面)

250-5423206-1237442

領 収 書

2017/03/30 15:59

起風会 中田 中 様

領収金額 ￥ 6,600

但し、商品代金として

上記の通り正に領収致しました。

収入
印紙

GOODS COMPANY

グッズカンパニー株式会社

553-0007大阪府大阪市福島区大開4-1-18 4階

(事業名、使途及び内容等)

ボールペン替え芯 購入費用.

(備考)

整理番号

使途項目 事務費

2017/4/1

Amazon.co.jp - 注文番号 250-6351907-3140631

H-7

amazon.co.jp

注文番号250-6351907-3140631の領収書

このページを印刷してご利用ください。

起国会 中田中 様

発行日: 2017年4月1日
注文日: 2017年3月30日
Amazon.co.jp 注文番号: 250-6351907-3140631
ご請求額: ¥ 5,454

2017年3月30日に発送済み

注文商品 価格
2点 キングジム キングファイル A4 タテ 1000枚収納 両開き 2470A 青 ¥ 909
販売: Amazon Japan G.K.

コンディション: 新品

お届け先住所:
中田 中
206-0824
東京都 稲城市若葉台3-1-1
若葉台ワルツの杜F401

商品の小計: ¥ 1,818
配送料・手数料: ¥ 0

注文合計: ¥ 1,818

この配送分のご請求額: ¥ 1,818

配送方法:
お急ぎ便

2017年3月30日に発送済み

注文商品 価格
4点 キングジム キングファイル A4 タテ 1000枚収納 両開き 2470A 青 ¥ 909
販売: Amazon Japan G.K.

コンディション: 新品

お届け先住所:
中田 中
206-0824
東京都 稲城市若葉台3-1-1
若葉台ワルツの杜F401

商品の小計: ¥ 3,636
配送料・手数料: ¥ 0

注文合計: ¥ 3,636

この配送分のご請求額: ¥ 3,636

配送方法:
お急ぎ便

支払い情報

支払い方法:
[] | カード番号の一部: []

商品の小計: ¥ 5,454
配送料・手数料: ¥ 0

請求先住所:
中田 中
206-0824
東京都 稲城市若葉台3-1-1
若葉台ワルツの杜F401

注文合計: ¥ 5,454

ご請求額: ¥ 5,454

クレジットカードへの請求

[] ([]): 2017年3月30日: ¥ 3,636

[] ([]): 2017年3月30日: ¥ 1,818